



成人おめでとうございます

第71回砂川市成人式



＊新成人に聞きました「今後の目標や抱負を教えてください！」



●青木真央さん(左)
高橋優花さん(右)
「子どもたちを笑顔にできる保育士になれるよう頑張ります！」



●横山直樹さん(左)
「放射線技師になって札幌で勉強して、いつか砂川の病院で貢献できるように頑張りたいです」
●阿彦一希さん(右)
「看護師になって困っている人を助けたいです」



●石黒綾乃さん(左)
「お酒で失敗しないように気をつけます」
●川中結衣さん(右)
「1年健康に暮らします」

新成人代表のことば

新成人代表 岩織 大樹さん

本日は、私たち新成人の門出にあたり、盛大な成人式を開催していただき誠にありがとうございます。また、ご多忙中にもかかわらず、多くのご来賓のご臨席を賜りましたことに、厚く感謝申し上げます。

今年の成人式のテーマは、「平成最後の成人式」始まりの合図を今ここで〜です。平成最後の成人式となる今日という節目に、私たちが社会の一員として新たなスタートを切ることができるようにと考え、このようなテーマに決めました。これから先、今日共に過ごした仲間のことを忘れず、困難にぶつかったときは、一人ではないということをお願い出して、乗り越えていきたいと思っています。

私たちは今日、晴れて成人の日を迎えることができました。こうしてこの日を迎えられたのも、地域の方々、お世話になった先生方、そして今まで愛情をもって育ててくれた家族のおかげであり、私たちの成長を温かく見守ってくださったすべての方々に感謝しております。

子どものころ、自分が思い描いていた二十歳は、大人として自立しているかと思っていました。今、自分が二十歳になって感じることは、幼いころ思い描いていた存在とは程遠く、支えられる側にいる

ということですが、自分は働き始めて二年目になりますが、まだまだ未熟であり、家族や周りの方々に支えられております。今、自分が新成人としてこの場に立つことができるのは、このような方々の支えがあったおかげだと実感しております。

しかし、これからは一人としての自覚を持ち、支えてくださった方々の期待に応えていかなければなりません。今日という日を境にして、私たち新成人は支えられる立場から支える立場へと変わります。私たちは支えてくださった方々への恩返しとして、社会、そして故郷である砂川市に貢献していきます。

昨年、北海道で胆振東部地震が起きました。全国ニュースにもなったこの地震は、北海道民において決して忘れられない災害となりました。これからは、私たちが社会を担う立場として、問題が起きたときに対処できる力を、身につける必要があると思います。

私たちは知識も経験も十分ではありませんが、これからの未来を築く力となれるよう成長していきます。そして、自分の考えと行動に、より一層の責任を持ち、私たちの務めを果たしていきます。大人の仲間入りをした今、自由と責任の重みをもう一度深く考え、明るい未来をつくりあげていくことをここに誓いまして、新成人代表のことばといたします。